

I. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

千葉工業大学（以下、「本学」と言う。）の前身は昭和 17(1942)年に大学令により認可された予科 3 年、本科 3 年の旧制単科大学である興亜工業大学であり、今日、70 年以上の伝統を誇る。興亜工業大学の創立は、折しも太平洋戦争中であり、物資・資材が乏しいながらも、設立の趣旨に『志操堅固、学理及び技術に優秀なる工業人材の育成』を掲げ、「国土の養成」「全人教育」「労作教育」「塾教育」を教育の理念として、向学心に燃えた学徒に門戸を開いた。

創立時における学科構成は航空学科、冶金学科、機械学科の 3 学科で構成され、1 学年の定員は 160 人であった。太平洋戦争の終結に至るまで、数度の校地移転を余儀なくされる苦難の時代があるも、新制大学となり、今日における学生数は約 9,600 人、3 学部 11 学科、大学院は 3 研究科(修士課程 8 専攻、博士後期課程 3 専攻)を擁する国内有数の多彩な工学・科学分野の人材育成を担う工業系単科大学である。

本学の建学の精神は、その前身である興亜工業大学の伝統を堅持し、教育の理念のうち「新国土の養成（国家を担ぎ世界文化に尽くし得る人間）」に注目し、「世界文化に技術で貢献する」としている。また、建学の精神に基づいた以下のような教育目標を掲げている。

師弟同行、師弟共生の教育を以て、

- ・ 広く世界に知識を求める好学心を持つ人材の育成、
 - ・ 自ら学び、自ら思索し創造する人材の育成、
 - ・ 自由闊達、機智縦横な人材の育成、
 - ・ 善隣及び協力をつくり上げていく人材の育成、
 - ・ 高度な専門知識と豊かな教養を持つ、学理及び技術に優秀な人材の育成、
- を旨とする。

これらの教育目標は、グローバル化が一段と進展してゆく今日の社会情勢において、広く世界に知識を求める好学心を有する人材育成をベースとして、自ら学び、自ら思索し創造することにより知識と知識を連結し行動プランの中で活用できる応用能力、更には、異なる意見や多様な価値観を理解し発展的発想に結び付けることのできる、自由闊達、機智縦横な人材の育成を念頭として策定している。

本学の使命は、設立の趣旨に謳われた「志操堅固、学理及び技術に優秀なる工業人材の育成」に集約され、興亜工業大学創立時からの伝統を堅持しながら、工学における知識と学識の教授を基盤として新しい価値創造と人材養成を目指し、学則には「教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、科学技術の理論と応用を教授研究するとともに、豊かな教養を備え人類福祉のため進んで協力する意欲と識見をもつ人材を養成することを目的とする。」と定めている。